

第11回 国土セイフティネットシンポジウム

巨大地震に
いかに備えるか

M9

東日本大震災の復旧現場から見つめなおす

日時 二〇一二年二月二日(木) 一三:〇〇—一六:五〇

会場 パシフィコ横浜 アネックスホール二〇五・二〇六号室

主催 独立行政法人防災科学技術研究所

NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会

共催 一般社団法人日本地震工学会

入場無料

巨大地震にいかに備えるか

東日本大震災の復旧現場から見つめなおす

すべてが失われた大震災から間もなく1年。絆という言葉があらためて注目され、世界各国からの応援は止むことがありません。しかし、その一方で、巨大地震への備えは、ますます大切な課題となっています。

防災科学技術研究所とリアルタイム地震情報利用協議会では、これからの私たちの生活に何を求められているのか、何を考えなければならないのか、みなさまと一緒に真摯に見つめていきたいと思っております。

日時： 2012年2月2日(木) 13:00～16:50

場所： パシフィコ横浜 アネックスホール 205・206号室

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

電話 045-221-2166 (交通案内) 045-221-2155 (総合案内)

みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分 JR桜木町駅より徒歩12分、横浜駅よりタクシー7分

主催： 独立行政法人防災科学技術研究所 NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会 (REIC)

共催： 一般社団法人日本地震工学会

プログラム

司会——上村良澄 REIC 常務理事

13:00 – 13:10 開会の挨拶——岡田義光 防災科学技術研究所 理事長

13:10 – 13:50 招待講演1——東日本大震災に対する国の応急対策
福浦裕介 内閣府政策統括官(防災担当) 付 災害応急対策担当参事官

13:50 – 14:30 招待講演2——東日本大震災での医療対応と今後の備え
山内聡 東北大学病院 高度救命救急センター医局長
——休憩——

14:40 – 15:10 被災者の苦しみを感じ、何をやってきたか、何をやろうとしているか
水井良暢、松田達生、岩木正裕 REIC 研究員

15:10 – 16:10 東日本大震災における被災地情報支援——公民協働の実践と課題
長坂俊成 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域プロジェクトディレクター

16:10 – 16:40 これからやってくるM9級地震への備え
藤原広行 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域長

16:40 – 16:50 閉会の挨拶——片山恒雄 REIC 会長

お申し込み： REIC ホームページ、もしくは震災対策技術展ホームページよりお申し込みください。

<http://www.real-time.jp>

<http://www.exhibitiontech.com/etec/seminar-yokohama.html>

お問い合わせ： REIC 事務局 電話 03-5366-2720 E-mail: reic_info@eq7realtime.org (担当：大園、大津)